

神 神社編

散歩がてら全制覇 永代の神社・仏閣

浄土宗の寺院

正源寺

門前仲町駅から 徒歩約7分
永代1丁目8-8



1

寛永6年(1629年)に創建されたお寺です。関東大震災・東京大空襲などで度々全焼度々したが、再建され現在に至っています。初代市川團四郎(だんしろ／歌舞伎役者)の墓があることでも有名。誰でも手ぶらで参加できる写経会もります。深川の正覚寺とは開山が同じで兄弟寺。

薄暗い道を抜けて

徳壽神社

門前仲町駅から 徒歩約6分
永代2丁目18



2

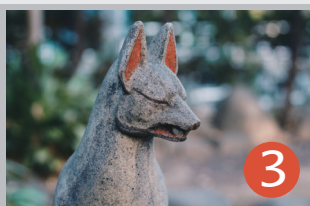
永代河岸通りの一本裏手、二つの細い路地を跨ぐ様に建つ神社。周囲の建物の背が高いため昼間でも薄暗く、ちょっと怖い(?)雰囲気。

富岡八幡宮の飛地境内社。この地にあった長屋の水路に稲荷大神のご神像が流れ着き、長屋に住む人たちによって祀られたのが創祀とされています。

みかん色の鳥居が目印!

紀文稲荷神社

門前仲町駅から 徒歩約8分
永代1丁目14



3

江戸中期の豪商「紀国屋文左衛門」が、京都伏見稲荷神社より命を受け、航海の安全と商売繁盛を願って祀られた。その後この一帯は荒果れて、紀文稲荷も放置されていましたが、昭和初期に疫病が流行した際に現在の社殿が建立。以来、商売繁盛・家内安全のお稲荷さまとして慕われています。

バンダイナムコの真横

福住稲荷神社

門前仲町駅から 徒歩約6分
永代2丁目37



4

元は近江屋喜左衛門屋敷の邸内にあったもの。明治9年に渋沢栄一が屋敷を買収し、明治30年に渋沢倉庫部を創業したあとは、同社の守護神として祀られました。

その後、大正12年の関東大震災で焼失してしまった為、昭和5年に再興されています。現在の鳥居もその時に建立されたもの。

住宅街の真ん中に

永代出世稲荷神社

門前仲町駅から 徒歩約4分
永代2丁目26-7



5

五穀豊穡の神さまである宇迦魂命(うかのみたまのみこと)が御祭神。「永代出世」という社号の響きに人気が集まり、パワースポットとして認知されるようになりました。ご利益は出世開運、事業成功、商売繁盛。なぜか、お狐さんが左右とも鉄作で囲ってあります。鳥居には「正一位出世稲荷大明神」の文字が。

ミニチュアサイズ

伏見稲荷神社

門前仲町駅から 徒歩約8分
永代1丁目10-14



6

川沿いの道から外れた細い路地のさらに奥にひっそりと建つ「ミニチュア神社」。小さくて可愛い二体の狐の像と、中に進むにつれて段々と小さくなっていく鳥居が特徴。周りの家々と緑が程よく影を作ってくれていて、晴れた日でも少し薄暗く、不思議な雰囲気がいまを包みます。

細長い鳥居

於芳稲荷神社

門前仲町駅から 徒歩約4分
永代2丁目22-8



7

住宅街を歩いていると、家と家の間からひょっこり顔を出す、縦長でスリムな鳥居。横幅は一人がやっと通れる程。奥に祀ってあるのは五穀豊穡の神様である「宇迦魂命(うかのみたまのみこと)」。永代出世稲荷神社同様のご利益を期待できます。

自転車が参拝する

王子稲荷神社

門前仲町駅から 徒歩約7分
永代1丁目10 深風荘



8

かなり丹念に探して行かないことにはまず見つからないであろう、参拝難易度90%超のレアスポット。社の前には、何故か数台の自転車が同じ方角へ向いたまま置かれており、まるで参拝しているかの様。総本社は京都にある「伏見稲荷大社」。こちらにも、商売繁盛・五穀豊穡の神様が祀られています。